

What's?

楠クリーン村とは

山口県宇部市の楠で、農と自給を軸とした暮らしの実践と生産・加工・販売・体験事業に取り組んでいます。

2002年に山口大の学生が中心となり、NPO法人学生耕作隊を立ち上げ、人手不足の農家と農業に関わりたい学生のマッチング事業をはじめました。その後、市からの依頼で、耕作放棄された茶園で親子体験イベントを実施し、それが縁となり、2007年に土地を継承し茶園再生に向けた取り組みをスタートしました。その後、持続可能な社会の実現に向けた変化が乏しい実情に危機感を覚え、2011年に「楠クリーン村」と農園名を改め、エネルギーや食の自給、住まいのセルフビルドなどを通して、人・もの・自然に向き合う暮らしを実践してきました。現在は、8名の定住メンバーと全国各地の高校生や大学生、近隣農家や農業体験等で訪れる子どもたちとの協力で、茶・米・野菜・果樹等の栽培、採卵鶏の飼育を行っています。また、持続可能な暮らしの事例を発信するべく自分たち自身の自給率を上げていくと共に、体験や学びの機会を求めている子どもたちのためのイベント開催、「我が家の自給率をまず10%に！」を目指す自給一足プロジェクトの始動準備も進めています。



4月 本格的な農繁期に突入！蕨や筍など、山菜が芽を出す季節です。稲の種を蒔き、栽培を開始します。お茶収穫直前のため、スタッフや近隣の学生が集まりお茶畑の草取りを実施します。

6月 初旬に田植えをし、1週間後から最も重要な田んぼの除草が始まります。ブルーベリーの実が色づき始め、完熟したものを収穫、選別して出荷します。6月上旬には美しい蛍を見ることが出来ます。

8月 夏野菜が採れはじめます。トマト、ナス、ピーマン、ししとう、バジル、紫蘇…毎日の料理が楽しみになる季節の訪れです。各畑や道沿いの草取り、草刈りとお米の収穫準備が主な仕事です。

10月 お米の収穫が終わると、翌年の土づくりのため田んぼに鶏糞と蓮華の種をまきます。ホッと一息。肩の荷が下りる瞬間です。椎茸収穫や、秋野菜の栽培管理も並行して行います。

12月 ブルーベリーの剪定、じゃがいもの収穫などの栽培管理をしながら、薪風呂焚きや薪ストーブに使用する1年分の木を倒し、乾燥させておきます。

2月 整備に時間を充てられる貴重な1か月です。道づくりやセルフビルドなどの時間をしっかり取りながら、農繁期の資材準備などを行います。梅が咲き、もう春だ！という喜びと少しの焦りを感じる季節です。

5月 お茶の収穫と加工をする、一年で一番忙しい時期。収穫の合間に、夏野菜も定植します。お茶の収穫が終わる次第、田植え準備のための代掻きを行います。ふと顔を上げると、美しい新緑が迎えてくれます。

7月 田んぼの水管理がひと段落し、中干（田んぼの水を抜き乾燥させる）をします。畑や道沿いに生えてくる草刈が主な仕事。夕方には鈴虫が無きはじめ、日中の疲れが癒されます。

9月 前半に食用米、後半に鶏用の飼料米を収穫します。台風が多い季節ですが、田んぼがぬかるんでいる日は収穫ができません。雨の合間を縫って収穫を進めます。

11月 4月から育ててきた雛が産卵開始。お茶が休眠期に入る際に、秋の剪定を行います。5月に美味しいお茶を収穫するため、タイミングが重要な仕事です。椎茸栽培に適した木の伐採も11月に終わらせます。

1月 この時期になると時々、雪が積もります。やっと農繁期の仕事が終わり、敷地の整備に着手します。道沿いの雑木や手が回らなかった草刈りなどをして敷地をさっぱりさせます。

3月 再び、農繁期のはじまりです。春から夏にかけて使用する畑の準備を終えて種を蒔きます。山菜の収穫発送準備や、お米の種まきに使用する土づくりも3月中に終わっておきます。

profile

村長の
高田 夏美です



神奈川から楠に移住して9年目
子育てをしながら持続可能な暮らしに挑戦しています

Come together

一緒に一歩を
踏み出そう！



自給
×
ビジネス

ロハス
コミュニティ

ASIA
7か国との
ネットワーク

あたらしい
学校

セルフ
エネルギー
*
セルフビルド

アバター
村民

<https://kousakutai.net>

楠クリーン村 から
おいしい暮らしをお裾分け♪

安心安全の輪

自給の備えトラストに参加しませんか？

リスク社会だからこそ「つながる」！
それが、楠クリーン村の「安心安全の輪、
自給の備えトラスト」です。

今私たちの暮らしで「食」に焦点を当てただけでも、
価格の高騰、世界的な供給網の混乱、国内の低い食
料自給率、災害、天候不順、食品ロス、不透明な安
全性等、様々な問題を抱えています。

楠クリーン村ではそのような情勢の中、楽しく豊か
に危機を乗り越えるため「自給農のある暮らし」の
モデルになるべく、実践を続けています。

農家減少、農地荒廃、自給率低迷・・・
こんな今だからこそ、「消費者」と「生産者」の枠を
超えた繋がりを持つことで、困った時に助け合える
仕組みを整え、災害などでピンチとなった時に共に
乗り越えるご近所さんのような関係を築きたい。

それを担っているのが、楠クリーン村の
「安心安全の輪、自給の備えトラスト」です。

Welcome
KUSUNOKI
YAMAGUCHI
Trust



会員さんの 嬉しいポイント！

- 顔の見える新鮮な農産物や加工品が年3回自宅に届く
- いつ、何が届くか
お楽しみのわくわく感
- 楠クリーン村の活動発信を密に受け取ることができる
- 食糧難や災害時に生産者と直に繋がっていると心強い
- 子どもの食育に繋がる

楠クリーン村の 嬉しいポイント！

- 採れたら送る仕組みのため、
天候不順や予期せぬ虫被害などの
ダメージを最小限に抑えられる
- 新商品の感想を
お客さんからもらえる
- 事前予約購入のため、
事業の安定化につながる

●トラスト会員さんの声●

トラスト便が届きました。
ありがとうございます。
早速、産はあくぬきをしてお浸し
させていただきました。
柔らかな食感、優しい香を感じ、
味わいました。美味しかったです。

定期便、ただいま到着！
珍しくて美味しそうなもの
ばかり！ ありがとう！
感謝していただきます。

旬のものは滋養が高く、身体も喜び
ます。お味噌も春の野菜に付けて、
風味香りがよかったです。大
好きな黒くるみも！ 貴重な手作り金
柑ジャム、ラム酒漬けも少しずつ味
わいます。

このトラストでは、私たちが育てた作物に加えて、各家庭が備えるために必要な情報や
考えておくべきことを同時にお届けします。

自給の備えトラストって何？

いつでも送っていいよ！
が合言葉です。



年会費 1万円で 1年に3回、楠クリーン村産の旬の作物や新作の農産物加工品などをお届けします。発送内容は「今一番お届けしたいもの」を選んで発送しているため、毎年変わります。また、楠クリーン村の商品のみならず、アジア7カ国の農村ネットワークから生まれた商品をお届けすることもあります。何が届くかは、箱をあけてからのお楽しみ！

●例えはこんなもの！トラスト春便一例
採れたて豚 200g
山口県産ほぐらで作った金柑ジャム 90g
自家製味噌 200g
ドライフルーツと胡桃のラム酒漬け 120g



お申し込み方法

お申し込みは、e-mail または FAX にて下記の必要情報をお送り下さい。
様式は問いません。お申込情報を確認後、トラスト事務局がお振込先
のご案内を致します。

*ネットからお申込み希望の方は、こちらのQRコードから手続きができます。

必要情報：お届け先の郵便番号・住所・氏名・電話番号・FAX・
e-mail アドレス

*生ものをお届けする際は、お届け日の確認・ご連絡をさせていただきます。

お申込み先：e-mail trust@shakai-kigyo.net FAX 0836-67-1700

担 当：楠クリーン村 須藤 三奈

Instagram . . .

